

平成29年度大綱白里市議会

第1回定例会市長事務方針

2月20日から3月21日まで、市議会第1回定例会が開催されました。開会日に市長から平成29年度の事務方針が述べられましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等詳細は市ホームページをご覧ください。

当初予算編成・財政

本市の財政見通しは、人口減少や少子高齢化の影響により基幹財源である市税の大幅な増加が期待できない一方、子育て環境の改善・充実、津波避難施設の建設、大網駅周辺の整備など、市民の安全・安心の確保や人口減少・少子化対策をはじめ市の発展に欠かせない重要な事業の実施が求められており、今後の財政需要はますます増大していくことが見込まれます。

2点目は、本市の基幹産業としての農業の振興・強化と、商工業・観光のさらなる振興および本市の魅力発信の強化を目的に、産業振興課を分割・再編し、「農業振興課」、「商工観光課」を設置します。3点目は、みどりが丘市有地の整備を推進するため、企画政策課内に「みどりが丘市有地整備室」を設置します。

みどりが丘市有地を活用した出産・子育てを支援するまちづくり

みどりが丘市有地に、出産・子育て・買い物など生活環境がコンパクトに集約された空間を形成するため、支援事業者と連携を図りながら、基本計画の策定に取り組んでいます。

組織機構の見直し

平成29年4月から組織機構の改編を行います。1点目は、庁内の各部署をグループ化し、部署間の連携を強化することにも、将来の部制を見据え、それぞれのグループに専事職を設置します。また困難業務を担当する室長を担う職として副参事を設置します。

公共施設の維持管理

学校や公民館、スポーツ施設などの公共施設には、建設後相当の年数が経過しているものも多く、大規模な改修や建て替え等の費用が見込まれます。公共施設の将来的なあり方について具体的な検討を行うため、平成29年3月末を目標に「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組んでいます。今後は、この計画に基づき、維持管理コスト等の財政負担も考慮しながら、利用実態に即した施設の適切な管理等に向け、必要な対策を講じます。

公共交通

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき「地域公共交通網形成計画」の策定作業を進めてきました。これまで各種調査等による現状分析を行い、問題点や課題を把握した上で、地域公共交通活性化協議会において、その方向性について議論いただきました。

これらの議論や市民の皆さんからの意見を参考に計画を策定し、各種施策を推進します。なお、平成30年には、コミュニティバス、白里地区の新路線バスのいずれも事業者との協定期間が満了します。今後の方向性については、利用者アンケートや、地元の方々と協議などを行うとともに、引き続き地域公共交通活性化

国民健康保険制度の広域化

協議会において議論し、検討を進めます。

平成30年4月から、国保財政の運営主体が市町村から各都道府県に移行することになり、市町村は、加入資格の管理や国保税の賦課、徴収を担うとともに、保健事業のさらなる進展を図ることとなります。本市においても、千葉県との連携を図りながら、新制度に対応したシステムへの改修等、国保制度の円滑な移行に向けた準備を進めます。

社会福祉

市民ボランティアや関係諸団体の活動、公的サービスなどを連携させ、「自助」「共助」「公助」に基づく「地域ぐるみ福祉」の推進を図るため、平成30年度から34年度までを計画期間とする「大綱白里市地域福祉計画」を策定します。

また、本市における障がい福祉サービスの見込みや数値目標等を明らかにするため、平成32年度までを計画期間とする「大綱白里市障がい福祉計画」を策定します。

今後も、市民・福祉団体・行政などが、それぞれの役割を担いながら、お互いに力を合わせる協働の関係をづくり、地域ぐるみでの福祉活動を推進します。

高齢者福祉

平成30年度から32年度までの3年間を計画期間とする「第7期大綱白里市高齢者福祉計

画・介護保険事業計画」の策定のため、対象者へのアンケート調査を実施しています。

このアンケート調査の結果を踏まえ、要介護者および高齢者の生活状況や在宅介護の実態把握に努めるとともに、介護サービスの種類ごとの事業量推計を的確に行い、今後高齢者施策に見合った計画を策定します。

子育て支援

引き続き、子育て世帯に対する経済的支援に努めます。就学援助事業については、中学校入学後に支給していた「新入学生徒学用品費」を「中学校入学準備金」として、小学6年生の3学期に支給します。本年4月に新中学1年生となる児童から制度の適用を図ります。

増穂保育所隣接地に建設予定の児童福祉施設については、農地転用および開発の許可を受け、造成工事を行っているところです。また、施設設計を関係者等の意見を伺いながら進めていきましたが、建設費用の概算が当初の見込みを大幅に上回ったことから、機能や施設の規模について見直し作業を進めています。

空家対策

「健康ポイント事業」を実施します。定期健診の受診や市の健康づくり事業、介護予防事業などに参加した市民の方々にポイントを付与し、指定したポイントを取得した方には市の特産物等の記念品を贈呈します。

市民の皆さんからの情報などをもち、市内に存在する空家の実態把握に努めるとともに、適正に管理されていない空家については、所有者に対し指導を行ってまいりましたが、今後は、空家の利活用という観点にも着目し、不動産業界とも連携を図りながら、移住や定住の促進にもつながるよう、本市の実情に合った空家対策を検討します。

都市基盤整備

大網駅東土地区画整理事業は、事業費ベースによる進捗率が、平成28年度末時点で83%に達する見込みです。平成29年度においても、地区内の骨格となる「都市計画道路大網駅東中央線」の早期開通および事業の早期完成に努めます。

また、大網駅南地区の市街地整備については、大網駅周辺整備検討委員会から出された方針案をたたき台に地権者の皆さんからご意見をいただきました。また、大網駅南地区の市街地整備については、大網駅周辺整備検討委員会から出された方針案をたたき台に地権者の皆さんからご意見をいただきました。

小中池公園の再整備

小中池公園は、開園から20年以上が経過し、遊具や施設等の老朽化が見られるほか、圏央道スマートインターチェンジの設置に伴う新たな活用方法についても検討する必要があります。このため、今後の小中池公園の再整備の方向性について、学識経験者や市民を交えた検討会を立ち上げることといたしました。

今後は、この検討会や議会における議論等を踏まえながら、整備計画案を作成し、小中池公園のさらなる魅力向上に努めます。

下水道関係

公共下水道事業は、保有する資産の老朽化に伴う更新時期を迎えているだけでなく、今後の人口減少等に伴う料金収入の減少も見込まれるなど、経営環境がますます厳しくなることが予想されます。この

ため、将来にわたって安定した経営を行うことを目的に、平成38年度までの10年間を計画期間とする「大綱白里市下水道事業経営戦略」を策定し、将来にわたって持続可能な下水道事業の経営を行うための基本計画として活用します。

大網病院

高齢化の進展に伴う医療ニーズ等の変化により、収支が悪化傾向となつています。各種がん検診、人間ドック、個別特定健診などの業務を拡充し、主にこれらの業務を担当する医師を採用するほか、4月には新たに外科医を採用します。また、看護師についても、大学と連携した看護師養成の取り組みとして、城西国際大学看護学部の学生4人の採用を予定しており、今後もこうした取り組みを継続し、収支改善に努めます。

施設整備については、冷温水発生器などの更新を予定していますが、新築移転から20年が経過し、各種設備や医療機器が更新の時期を迎えるなど老朽化が進んでいることから、計画的な整備・更新を図り、医療サービスの向上に努めます。

